『骨・関節 X 線写真の撮りかたと見かた 第 8 版』正誤表 (2010 年 8 月 25 日作成)

頁	該当箇所	誤	正
32	図 1-48 説明文	a: <u>棘上筋腱付着部の腱内にある…</u>	a: 断裂して中枢へ退縮した…
		b : <u>断裂して中枢へ退縮した…</u>	b:棘上筋腱付着部の腱内にある…
36	図 1-53 図中	<u>腹筋</u> の膨隆	筋腹の膨隆
49	図 2-5 図中	腕橈骨筋 <u>(朱色文字, 図中着色あり)</u>	腕橈骨筋(紺色文字、図中着色しない)
		尺側手根屈筋上腕頭 <u>(紺色文字)</u>	尺側手根屈筋上腕頭(<mark>朱色文字)</mark>
		尺側手根屈筋尺骨頭 <u>(紺色文字)</u>	尺側手根屈筋尺骨頭(<mark>朱色文字</mark>)
50	囲み記事左段	<u>プラズマキニン</u>	ブラジキニン
	下から 13 行目		
51	図 2-7 説明文	a:毛細血管の豊富な初期の肉芽 <mark>細胞</mark> 。…	a:毛細血管の豊富な初期の肉芽 <mark>組織</mark> 。…
51	囲み記事右段	…強膜,脳 <mark>梗塞</mark> など)に区分される。	強膜、脳 <mark>硬膜</mark> など)に区分される。
	上から2行目		
58	本文左段	…性を保っている。 <u>運動時痛の運動痛</u> が増強し,	···性を保っている。 <mark>肘関節の運動時痛</mark> が増強し,
	下から6行目		
66	図 2-32 図中	(上の骨折線が <mark>Ⅰ</mark> ,下の骨折線が <u>Ⅱ</u>)	(上の骨折線がⅡ、下の骨折線がⅠ)
76	図 2-49 a. の図中	(尺骨手根屈筋尺側頭と尺側手根屈筋上腕頭の語と, 指し示す	(尺骨手根屈筋尺側頭と尺側手根屈筋上腕頭の <mark>語を入れ替え</mark>
		位置の関係)	<u>১</u>)
79	図 3-4 説明文	・・・浅指屈筋腱は2本に分かれ、浅指屈筋腱の周囲を螺旋状に回	・・・浅指屈筋腱は2本に分かれ、深指屈筋腱の周囲を螺旋状に回
	下から5行目	り,	り,
80	図 3-5 図中	(槌指変形とボタン穴変形の参照頁)	
		<u>101</u> 頁	104 頁
85	本文右段	…遠位骨 <mark>折</mark> は掌側へ転位し,	···遠位骨 <mark>片</mark> は掌側へ転位し,
	下から2行目		
94	図 3-29 説明文	a: <mark>SCL</mark> angle(舟状骨-月状骨角)は30~60°。	a: <mark>S-L</mark> angle(舟状骨-月状骨角)は30~60°。
129	本文右段	···, <u>5</u> mm以上上方に突出しているものが···	···, 4.5 mm 以上上方に突出しているものが···
	下から7行目		
132	本文左段	Ⅱ型は外観上の3主徴のないⅡ型は無症状例も多く…	Ⅱ型は、外観上の3主徴はなく無症状例も多く…
	下から1行目		
138	図 4-40 説明文	dynamic <u>canalstenosis</u>	dynamic canal stenosis
139	図 4-41 説明文	b : T2 強調像での高信号域は <u>脱髄, グリオーシスなどの不可逆</u>	
		<u>的変化を反映したものである。</u>	反映したものである。

170	図 5-22 説明文	a:椎間板高位に一致する造影柱の前欠損が明らかとなる。	a:椎間板高位に一致する造影柱の前方欠損が明らかとなる。
174	本文左段	胸骨椎移行部(T11-L2)は…	<u>胸腰椎</u> 移行部(T11-L2)は…
	下から4行目		, , , ,
187	図 6-16	(図aと図cの掲載位置)	矢印入りの図が horizontal displacement(図 c),
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	椎体と椎体の間が等間隔の図が正常(図 a)。
207	囲み記事左段	···結核による感染症である。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	上から1行目		
207	囲み記事右段	…拡大してくると、中心の乾酪壊死巣も拡大し軟化してくる。	…拡大してくる。これは、中心の乾酪壊死の拡大による。
	下から2行目		
212	図 7-18 説明文	a:…高信号を示し、上下伸展は2椎間腔にとどまる。	a:…高信号を示し、上下 進展は2椎間腔以内にとどまる。
213	図 7-20 note		代表的な <mark>硬膜内髄外</mark> 腫瘍は…
	下から2行目		
217	本文左段	女性は更年期に骨量の急激な低下が起こるので、臨床的な骨粗	女性は閉経後に骨量の急激な減少が起こるので, 臨床的な骨粗
	下から9行目	鬆症はより早期に起こる。この骨量の低下は骨吸収の増加をも	鬆症はより早期に起こる。この急激な骨量減少はエストロゲン
		たらすエストロゲン(卵巣から分泌される女性ホルモン)の低	(卵巣から分泌される女性ホルモンで骨量の維持に必須)の欠
		<u>下による。</u>	乏による。
225	本文左段	<u>頚椎前後径</u> 拡大	頚部脊柱管 拡大
	上から8行目		
242	本文右段	膝蓋骨を正しく <u>上方</u> に…	膝蓋骨を正しく <mark>正面</mark> に…
	下から9行目		
247	図 9-14	大腿骨頭が関節包を着けたまま関節包外に脱出している	大腿骨頭が関節包を付けたまま寛骨臼外に脱出している
	b. の説明文		
253	図 9-22	…血行性骨髄炎はただちに化膿性 <mark>骨髄炎</mark> へと進行する	…血行性骨髄炎はただちに化膿性 <mark>股関節炎</mark> へと進行する
	a. の説明文		
257	本文左段	頚体角の補角に等しい <u>り骨端核の…</u>	頚体角の補角に等しい角度まで外転した肢位で撮影する。この
	下から1行目		側面像より骨端核の…
257	本文右段	…骨端線が <u>閉鎖したもの異常歩行</u> と…	…骨端線が 閉鎖したものは異常歩行 と…
	上から 12 行目		
264	本文左段	···軽微な外力 <mark>と</mark> 契機	…軽微な外力 <mark>を</mark> 契機
	下から2行目		
266	図 9-42	図aと図bの掲載位置	上図と下図を入れ替える
272	本文左段	··· <u>30°</u> 屈曲位での	··· <mark>軽度</mark> 屈曲位での

	上から 14 行目		
308	図 11-1a 内	前脛長筋	前脛骨筋
308	図 11-1b 内		半膜様筋
		<u>の</u> 名称)	
308	図 11-1b 内	(半腱様筋, 腱の引き出し線2本のうち下の線が示している部	半膜様筋, 腱
		位の名称)	
311	図 11-7	(<u>横足根関節を示す色線</u>)	距骨と舟状骨の境界の線と踵骨と立方骨の境界の線を朱色と
			し、舟状骨と楔状骨、舟状骨と立方骨の境界の線は紺色とする
321	本文右段	詳細については50頁, [参考]参照。	詳細については 52 頁の図 2-8 を参照。
	下から1行目		
347	図 13-9 説明文	… <mark>腸</mark> 管骨の骨端に	···長管骨の骨端に
351	図 14-3 説明文	…レンズ核と <u>内包は髄質部によって</u>	…レンズ核と 視床は内包という髄質部によって
356	図 14-10 説明文	… <u>下顎神経が通る。</u> 下眼窩裂は翼突口蓋窩と連続している。	…眼窩下神経、頬骨神経、下眼静脈などが通る。下眼窩裂は翼
	下から4行目		口蓋窩と連続している。
356	図 14-10 説明文	<u>下眼窩</u> 神経	眼窩下神経
	下から2行目		
358	図 14-14 図中	<u>希</u> 突起膠細胞	乏 突起膠細胞
393	本文左段	脳局所 <u>状態</u>	脳局所 <mark>症状</mark>
	下から 14 行目		
409	囲み記事	···(<u>368 頁[参考]</u> 参照)。	···(402 頁 参照)。
	下から1行目		
410	図 14-99 説明文	記憶障害を中心とする認知機能障害 <mark>と</mark> 脳病理所見として…	記憶障害を中心とする認知機能障害。脳病理所見として…
413	本文右段	403頁参照	405 頁参照
	上から9行目		
419	本文右段	鼓 <u>膜</u> 粘膜には浮腫, 充血, 肥厚がみられ(図 15-9), 粘液性,	鼓 <mark>室</mark> 粘膜には浮腫,充血,肥厚がみられ <mark>,</mark> 粘液性,のちに膿性
	下から3行目	のちに膿性の滲出をきたす。中耳腔内に分泌液が貯留するため	の滲出をきたす。中耳腔内に分泌液が貯留するため鼓膜は膨隆
		鼓膜は膨隆し <u>,</u> やがて…	し(図 15-9), やがて…
420	図 15-9 説明文	…乳房状膨 <u>流</u> が	···乳房状膨 <mark>隆</mark> が
434	図 16-18 図中	前頭洞粘 <mark>膜</mark> 嚢胞	前頭洞粘 <mark>液</mark> 囊胞